



## アプリ+あいぷろイベントで出会う

アプリ、イベントを経て広がる視野  
自分らしい表現方法を身に付け  
現在真剣交際中

### とろろさん 女性・20代後半

県内の公的機関に勤務。2022年にマッチングアプリに登録。マッチングした男性とお付き合いをするものの1年ほどで別々の道を歩むことに。その直後、効率的な婚活をするために婚活コンサルタントに依頼し、専門的なサポートを受けました。婚活中の男女と直接話したいと「あいぷろ」イベントにも参加。現在は、友人の紹介で出会った男性と交際中。

### レポータープロフィール

#### 結婚観▶仲の良い両親のような夫婦に憧れ

仲の良い両親の元で育ったとろろさん。憧れは、もちろん両親のような夫婦。「経済的に豊かであることに越したことはありませんが、それよりも心が満たされる暮らしが理想。愛情いっぱい子どもを育てたい」と考えています。

#### 婚活のきっかけ▶結婚関連動画を視聴し気持ちに焦り

漠然と結婚に憧れを抱いていましたが、25歳になって周りを見渡すと、同年代の男性は既婚者もしくは彼女持ち。何気なく視聴した結婚関連動画を見て焦りを感じ「リアルでの出会いの可能性は低い」と、マッチングアプリに登録をしました。

#### 性格診断付きのアプリに登録

#### 電話で話し、会うかどうかを判断

相手に望む条件として①居住地（県内）、②学歴、③年齢、④身長などを挙げました。何より重視したのが性格。「プロフィールを見て、女性の扱いに慣れ過ぎていない、真面目さを感じられる人が良いと思っていました」と話します。

毎日5~6人ほどの人から「いいね」が届き、マッチングした相手は60人にのぼりました。そのうち2割ほどの人とアプリ上のチャット機能を使ってやりとり。同アプリは、タイミングに応じて「いい感じなので誘ってみては？」というメッセージが表示されます。それを目安に、会うことになった人とは事前に電話をするようにしました。「話し方で相手の人となりがおおよそつかめ、ミスマッチが減る」と言われているようです。電話をした人の半分くらいはスムーズにやりとりができ、実際に会う段階まで進みました。

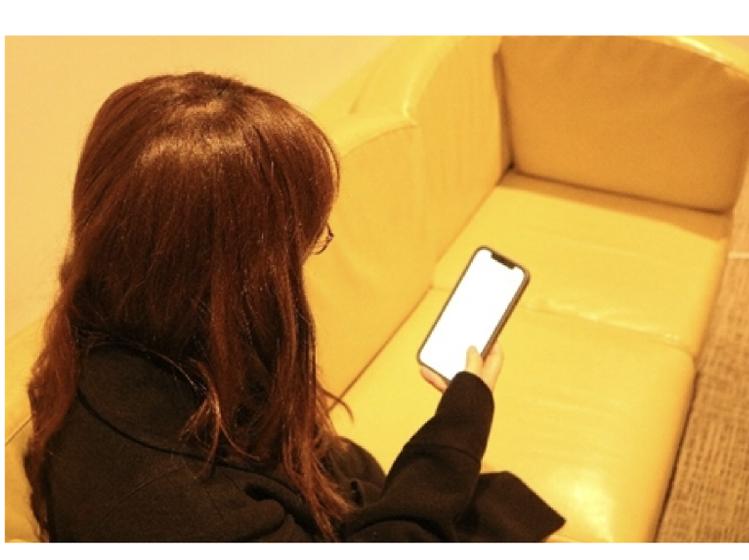
#### リアルに会って思いに変化

#### 次の約束をした人と交際へ

初めて会う場所は、指定がない限りいつも同じ。個室があってリーズナブルな価格の飲食店に決めていました。相手は20代~30代前半の人で、真面目な人が多い印象を受けたそうです。仕事や趣味の話をして、1時間ほどでお開きにしていました。

実際に会うようになると、とろろさんの中にある変化が起こり始めました。「性格や考え方に年齢や学歴はもちろん、身長も顔立ちも関係ない」ということを実感。「相手のスペックを見て判断しない。条件に合わなくてもいいなと感じたら会ってみよう」と思うようになったのです。

実際に会った人の6~7割とLINEを交換。初対面で次に会う約束をしたのは1人だけ。その1人と1日5~6回のやりとりを重ねて、お付き合いへと発展しました。



#### コンサルの指導で自己分析からスタート

#### 「刺さる」写真とプロフで300いいね!

交際開始から1年が過ぎた2023年6月、お互いの価値観の違いから、その男性とお別れすることになったのです。「自分に合う人を見分ける自信がない」と思ったとろろさんは、同年8月、ネットで見つけたプロの婚活コンサルタントの力を借りることにしました。

4カ月かけてコンサルタントとオンラインでやりとり。自己分析から自分に合うタイプを明らかにし、そこに「刺さる」プロフィールの書き方を伝授してもらいました。さらに、魅力を引き出すメイクや撮影など、きめ細かなサポートも受けました。こうして仕上がった写真とプロフィールを掲載し直すと、300を超える「いいね」がついたのです。「選びやすくなったけれど、あまりにも多すぎてわからなくなってしまった」と苦笑。そんなとき大学時代の友人から誘われ、友人同士のクリスマス会に参加しました。運命の出会いが待っているとは知らずに。

## 直接話せるパーティーに参加 今までの経験が生きて交際始まる

クリスマス会で婚活中であることを伝えると「直接話せるイベントに参加しては？」と勧められ、婚活パーティーへの参加を考えるようになりました。こうして応募したのが「あいぷろ」です。

料理作りがテーマだったので、ブラウスにジーパンというカジュアルな服装で参加。スタッフの「LINE交換を」という呼び掛けで、10人くらいの方とスムーズに連絡先を交換できました。良い人ばかりで、満足できたそうです。

一方、クリスマス会で会った仲間たちとは、その後も度々遊びに行く機会がありました。その中で惹かれるようになったのが、アプリでは会ったことのないタイプの男性。

アプリを通じて会ったのは「恋愛慣れしていない人が多かった」そうですが、それはとろろさんがそういう人を選んでいたので。「恋愛慣れしていない」というのは「だまされたくない」という自己防衛の表れだったことに気づいたと言います。これもアプリやパーティーと経験をしたから分かったことです。さらにコンサルタントを通じて自己分析を深め、自分の魅力を表現する力を身に付けたとろろさんは、自分が自然体でいられる男性との交際を自分の手でつかんだのです。

## 婚活している人へ 写真がアプリのマッチ率を左右 コンサルについてもらうのも一案

「マッチングアプリでマッチ率の鍵を握るのは写真」と言い切るとろろさん。「顔写真は必須ではないものの、ないとマッチ率が下がるため、あった方が良い」と話します。ご自身の経験から「会えるかどうかは、写真にかかっていると言っても過言ではない」と感じたほど、写真のクオリティは大切だと言います。

とろろさん自身、ファッションもメイクも撮影もプロに依頼した写真に差し替えたところ「いいね」の数は、差し替える前の5~6倍にもなったそうです。「プロに撮影してもらう必要はなくても、目を引く写真を掲載するのがポイント」だと話します。

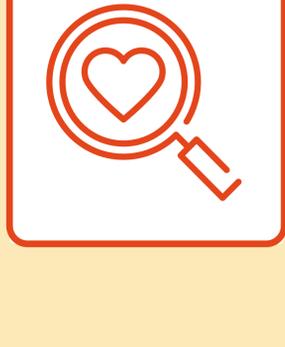
「自分一人では不安、相手を見分けられる自信がないという人は、プロに頼むのも一案」ととろろさん。詳しい自己分析や、自分の魅力の表し方などは、婚活に限らず一生役立つスキルだと感じているそうです。

## 登録した マッチングアプリについて

登録したアプリは性格診断機能があり、その結果をもとに自分の性格と相性の良い相手が優先的に表示される仕組み。「診断結果からヒットした相性が良い人を紹介してもらえるので、効率的でお得」と感じたそうです。

男女共に無料と有料の会員があります。女性は無料会員でも、メッセージを見たり、「いいね」を送ったりできますが、男性は無料ではこの機能を使えません。女性も一部有料の機能がありますが、とろろさんが登録したのは無料会員。不便に感じることなく利用できたそうです。

登録できるのは18歳以上で、本人確認書類の提出が必要。本名は不要でニックネームを入力、携帯電話の番号、生年月日、性別、居住地の登録が求められました。兄弟構成、勤務地、結婚願望など細かい部分も入力できますが、こちらは入力しないという選択もできるそうです。趣味や好きな食べ物など、好みのカードも登録できます。「共通の話題になるので、登録したほうが良いです」と教えてくれました。



## 参加した 婚活パーティー について

参加したパーティーは、ぐんま赤い糸プロジェクト（あいぷろ）の料理作りがテーマのイベント。名前や連絡先など必要事項を書いてLINEかメールで申し込み、担当者から連絡を受けた時点で申し込みが完了します。参加費は女性2,000円、男性は3,500円くらい。男性15人、女性10人が参加し、グループに分かれて料理を作った後、5分くらいずつ全員と話す「トークタイム」、その後、誰とでも話せる「フリータイム」がありました。「スタッフが手際よく段取りをしてくれたり、場を盛り上げてくれたりするので、シャイな方でも参加しやすい」と感じたそうです。

## あいぷろURL

<https://smilelife.pref.gunma.jp/encounter/event/>

また、とろろさんがお願いした婚活コンサルタントは1週間に1回の相談で4か月ほど。自己分析、お付き合いの仕方についてのアドバイス、プロフィール制作、写真撮影などで30万円ほどだったそうです。